



桜に迎えられ、式典会場へ向かう参加者（同）



前夜祭では、ステージや模擬店も（同27日、本部東西泉水プール前広場で）



「立教182年 春の学生おぢばがえり」には、全国各地から大勢の若者たちが参集した（3月28日、奈良県天理市の天理教教会本部で）

『若き華、春の天理を彩る』

立教182年 春の学生おぢばがえり

「立教182年 春の学生おぢばがえり」（主催＝同実行委員会、学生担当委員会）は3月28日、奈良県天理市の天理教教会本部で開催された。今年のテーマは「次代を担うようぼくへ」。本部中庭で行われた式典には、全国各地から高校生や大学生ら4千594人が参集。登壇した中田善亮・表統領は、「陽気ぐらし」世界の実現に向けて日々努力を重ね、立派なようぼくへと成人の歩みを進めるよう促した。咲き誇る桜とともに、『若き華』の笑顔が春の親里を彩った。

